会議議事録

				記録者	田中
供　　覧	室長	課長	課長補佐	主査・係長	G員
件　　名	令和3年度第1回龍ケ崎市行政経営評価委員会				
年 月 日	令和3年8月5日（木）				
時　　間	午後2時00分～午後4時30分				
場　　所	龍ケ崎市役所　5階第1委員会室				
出 席 者	【行政経営評価委員】 大橋純一 委員，加藤洋平 委員，松永信雄 委員，大山文彦 委員，小林史人 委員，土屋廣子 委員，塚本裕 委員，　石﨑功雄 委員 【事務局】 岡野課長，仲村課長補佐，栗山課長補佐，小室課長補佐，仲村主幹，記録者				
欠 席 者	栗山武志 委員，野村由紀子 委員				
情報公開	公　　開（枠囲み） 部分公開 非公開	非公開（一部非公開を含む）とする理由	(龍ケ崎市情報公開条例第 条号該当)		
		公開が可能となる時期 （可能な範囲で記入）			
発言者	内　　容				
岡野課長	定刻となりましたので，ただ今より，令和3年度第1回龍ケ崎市行政経営評価委員会を開会いたします。 当審議会は「龍ケ崎市附属機関の会議の公開に関する条例」に基づきまして，原則公開となります。本日は1名の傍聴の方がいらっしゃっていますことをご報告させていただきます。傍聴される方におかれましては，会議中はご静粛に傍聴いただきますよう，お願いいたします。 それでは，はじめに，本委員会会長であります大橋会長から，ごあいさつを賜りたいと思います。				
大橋会長	皆さんこんにちは。このコロナ禍の中，また，酷暑の中，お集まりくださり本当にありがとうございます。 今日は，令和2年度第2次ふるさと龍ケ崎戦略プランの進捗状況評価のご審議をお願いしたいと思います。このプランは，平成29年度のスタートから今年度で4年経つということで，その内容について皆さんに審議をいただき，忌憚のないご意見をいただければと思います。結構時間もかかるかと思いますが，90 分前後ぐらいを予定いたしております。もちろん，重要なところは時間をかけたいと思いますが，審議のご協力のほど，お願いします。では，よろしくお願いいたします。				
岡野課長	ありがとうございました。				

	ここで，市職員の人事異動に伴い担当が変わっておりますので，改めて紹介させていただきます。 【　事務局紹介　】 本日の会議開催にあたりまして，何点かお願いを申し上げます。 まず,新型コロナウイルス感染拡大防止のため,会議中はマスクを着用していただき，飛沫感染防止にご協力いただきますよう，お願いいたします。また，換気のため定期的に窓を開けることがございますので，ご了承ください。 次に，本会議の議事録作成のため，前回同様，発言を録音させていただきますので，ご発言の際にはお手元のマイクのスイッチを押していただいて,発言が終わりましたら，スイッチをお切りいただきますよう，お願いいたします。 それでは，この先の議事の進行につきましては，「龍ケ崎市行政経営評価委員会条例第５条第１項」の規定に基づきまして，大橋会長にお願いします。大橋会長，よろしくお願いいたします。
大橋会長	ありがとうございます。 議事に入る前に，本日の会議の成立について，確認いたします。本日は，委員数 10 名中，８名の委員に出席いただいており，委員会は成立しております。 なお議事録署名は，加藤委員と松永委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。 では，議題に入っていきたいと思います。最初に，第２次ふるさと龍ケ崎戦略プランの進捗状況評価について，事務局より説明をお願いします。
岡野課長	それでは，説明に先立ちまして，事前に送付させていただいております資料を，確認いたします。 まず，資料１として，A4 縦使いの令和２年度第２次ふるさと龍ケ崎戦略プラン進捗状況評価についてという資料。 次に，資料２として，令和２年度第２次ふるさと龍ケ崎戦略プラン施策評価シート 次に，資料３として，令和２年度第２次ふるさと龍ケ崎戦略プラン事業進行管理シート 次に，資料４として，第２次ふるさと龍ケ崎戦略プランにおける事務事業の今後の方向性について 最後に，資料 5 として，【参考資料】重要業績成果指標（ＫＰＩ）及び関連指標の近隣自治体との比較 資料の不足等はございませんでしょうか。 それでは，先に進めさせていただきます。 第２次ふるさと龍ケ崎戦略プランは，平成 29 年度から令和３年度までの５年を計画期間としている，本市の最上位計画でございます。本日は５年計画のうちの４年目の成果や取組状況等を踏まえた評価について，審議をお願いしているところです。本日の委員会開催にあたり，これまで課長クラスの会議や，市長含めた部長クラスの会議で評価を行ってきましたが，本日が最終の外部評価ということになります。本日の評価後に公表という形になりますので，よろしくお願いいたします。 それでは，この先につきましては，担当より資料に基づき細かく説明いたします。

事務局	―事務局・小室課長補佐から，令和２年度第２次ふるさと戦略プランにおける進捗状況評価の戦略１について説明―
大橋会長	どうもありがとうございます。 今の説明に関して，皆さんから何かご質問等がございましたら，お願いいたします。 いかがでしょうか。
石﨑委員	１ページ①の現状分析の３つ目，医療サービス体制への満足度についてのところで，ベース値と比べて高い割合を示しているという表現に違和感がありましたが，どう考えますか。
大橋会長	では，説明をお願いいたします。
小室課長補佐	そうですね。ご指摘のとおり，ベース値そのものが低いので，実績が高い割合なのかと言われれば，当然低いと思います。施策を進めていくことで達成したい目標値を置き，推移を見るために，現行プランを作成したときの状態でベース値を定めています。 言い回しは，目標値と比べてという表現にしたほうがわかりやすいと思うので，修正をさせていただきたいと思います。
大橋会長	石﨑さん，よろしいでしょうか。目標値という形に修正するということで，他にいかがでしょうか。 加藤委員，お願いします。
加藤委員	5 ページ目①の魅力ある都市拠点の形成についてです。KPI と現状分析の２つ目のところに進展が図れない状況であると書いてあることを照らし合わせると，事業に遅れが生じて目標達成が難しいと考えられ，進捗に遅れがあると判断できなくもないかと思います。進展が図れないとなると，事業がそもそもうまくいっていなくてこのような結果になっていると捉えたり理解したりする人もいるのではないかと思うのですが，どうでしょうか。
小室課長補佐	文章だけで評価を表現するのは難しいところですが，現状はその通りですね。協議や調整の段階で実行に移せない現状を，進展が図られていないと表現したのですが，実行できていないのだから遅れているとするのか，やるべきことはやっているので評価を上げるのかは，評価が難しいところです。KPI で見ると厳しくても，やることはやっているという意味で，やや遅れがあるというぐらいの評価でも良いのかなと思いますが，いろいろ協議などは進めていても，所有者との調整が課題となっているということなどをきちんと書いたほうが良かったと思います。
加藤委員	そうですね。進展が図れてないとなると，全くその事業が進んでいないとか，遅れているようなイメージがどうしても湧いてしまい，さらに結果が出てないとなると，進捗に遅れがあると理解しても何らおかしくないのかなと個人的に思いました。
大橋会長	進展中ということでもわからないことはないし，加藤委員が言うような捉え方もわかるので，個人によって捉え方が違い，微妙ですけど，いかがでしょうか。変えたほうがいいのではないかというご意見がもしここで何かあれば，少し検討していただければと思いますが。 もしなければ，事務局で検討していただき，場合によってはこのままということも含めて判断願えればと思います。 加藤委員，事務局に検討してもらって，場合によってはこのままということにさせて

	ください。 　他に何かいかがでしょうか。 　土屋委員。
土屋委員	4ページ④についてです。牛久沼の水質調査は，市でやっているのでしょうか。それとも県ですか。 　私，毎日牛久沼に散歩がてら行っているのですが，牛久沼の水は透明度が全然というくらいないですね。今まで綺麗だなって思ったことがないのですが，どうしたらよいでしょうか。子供たちはワカサギの稚魚を放流したりしていますが，水が汚いと言います。 　県からの発表を見ても，難しい言葉ばっかりで私達にはわかりにくいのですよ。 　牛久沼の水をもう少し綺麗にしていただきたいなと思います。
小室課長補佐	そうですね。牛久沼の対応については環境対策課から提出された事業シートに細かくありますが，市や県と漁業組合さんなどの関係機関とで一緒になって，水質浄化に効果がありそうな対策などの実証実験をいろいろ実施しているところです。二枚貝類による浄化活動や，アカミミガメの捕獲活動なども進めています。二枚貝については結果がなかなか出てこない部分もあるのですが，アカミミガメについては毎年かなり捕獲数が増えてきていて，捕獲する個体の大きさもだんだん小さくなってきているので，徐々に捕獲駆除ができてきているのかなという評価になっています。 　ただ，水質浄化に劇的な効果があるかというと，やはり難しい部分もありますし，流れてくる水の影響もあるのかなと思います。 　なかなか難しいのが現状だと思いますが，市としては，引き続きできることをやっていく，今後対策を講じていく意味も含めて評価を書かせていただいています。
大橋会長	ここでのチェックというのは，基本的に⑤のLED導入についてでしょうかね。牛久沼の水質浄化促進対策ということで，牛久沼に関してここで直接評価するのは難しいと思うので，土屋委員の意見は担当課に言っていただいて，相応の対応をしていただくということでお願いいたします。 　これは②の地域を綺麗にする活動にも関連するのかもしれませんけど，いずれにしても，担当課によろしくお願いいたします。
小林委員	戦略1の定住環境の創出っていうところが資料の中で一番気になるところです。 　市でも感じていると思いますが，仕事柄このコロナ禍に都内からの人口流入というか，引っ越ししている方が非常に多いと思います。 　しかし，実際に住んでいる数が増えていても，とりあえず仮で住んでみようという方，実は住民票を写していなくて把握していない方が結構増えているという実感があって，これはすごくチャンスだなと思っているのですが，近隣市町村の常総市さんとか牛久市さんとかも同様に感じていて，補助金みたいな対策に力を入れていて，結構取られてしまっているという感覚が僕の中ではあります。僕も龍ケ崎は大好きで，すごくもったいないです。こんな住みよいところなのに取り込めていないというのが悔しい状況です。 　例えば，空家バンクの活用。ずっと長いことこの委員会へ出させてもらっていますが，なかなか進展がないです。担当部署ではなく，たぶん市長とかの判断レベルなのかなと思っていますが，牛久，稲敷，利根とかは，空家バンクが非常に活用されていて，うまく売却が進んでいます。龍ケ崎は，年間通して1件出るか出ないかです。空き家は増え続けていて，一向に進展しないのはもったいないです。活用すればもっと流入できるのに，という現場の声をすごく感じていて，すごく歯がゆいです。

	企画課さんからお伝えいただきたいなという一つの意見です。空家バンクのことが達成できて人が入ってきてから，定住してもらうサービスというか施策が必要なのかなと思います。 例で言うと，30 代夫婦が都内から龍ケ崎に引っ越してきて，すごく良い所ですねと言ってもらえたのですが，お子さんがいないために住宅取得に関する補助金がもらえなかったと言われ，また，不妊治療などの補助金は市にないかと聞かれたことがありました。不妊治療で悩んでいる方は私の周りでも多く，定住環境を創出するうえでは必要なのかなと思いました。 まずは人を入れて，その先，必要な声やニーズに合わせて対策を打ち出していくというのは，コロナ禍でチャンスだと思っているので，意見させてもらいました。
大橋会長	空家バンクのことに関しては，私が空家対策委員長をやっていて非常に耳の痛いところをつかれたところがありますけど，弁明ではないが一所懸命努力しております。 先ほどちょっと紹介されていましたけど，近隣市町村は空家バンクの活用ということで結構うまく空家が移動しているのですね。本委員会でも，土地の鑑定士さんの情報も入って，どのようにやれば良いかというノウハウを教えていただいております。 ただ龍ケ崎市の場合は，なかなか売るとういうところまではオーナーの方で出ず，止っちゃうのですよね。話を持ち出すことで空家バンクの話にはなるのですが，実際に売るとなると，なかなか手放すところまではいかないという現状があるみたいです。 また，1 つの手ということで，支援金とかについても，いくつか改正が出てきています。対策は取ろうとしており，支援金が少し変わってくるかと思います。 8 月に書面会議がありますので，小林委員から提案されたことは伝えておきたいと思います。私自身，委員長として肝に銘じておきます。私自身も空き家問題は 1 つのテーマにしており，何とかこの龍ケ崎で活用していこうと考えております。また，空き家を地域の住民の方の 1 つの憩いの場として利用するところも出てきていますので，いろいろな利用の仕方によって定住につなげていければ良いと思います。 そのように申し伝え，また，そのように対策を少し考えていきたいと思いますので，よろしくお願いします。事務局も担当課に申し伝えてください。
大橋会長	塚本委員，お願いします。
塚本委員	4 ページの総合型地域スポーツクラブ会員数というのは，たつのこフィールドにあるジムというかクラブのことですか。
小室課長補佐	流通経済大学さんが中心となって活動している NPO 法人のクラブドラゴンズさんの会員数です。
塚本委員	クラブドラゴンズさんの会員数のことなのですね。そうすると，民間ですと龍ケ崎だけ見ても 24 時間対応とかのスポーツジムがたくさんできてきている状況で，関心がある方はものすごくいらっしゃると思います。 だから，人数が目標に達していないというのは，何かやり方が違うのかなと感じます。その辺の対策が必要なのかなと思います。 あともう 1 つ。総合運動公園の延べ利用者数というのには直接関連ないかもしれませんが，たつのこフィールドの周りを走っていると，どうしたってトイレに行きたくなるのですね。ただし，まず，たつのこやまの下にあるトイレ，ものすごく汚いです。また，自動販売機のある方の建物のところのトイレもものすごく汚いです。反対側の駐車場の方にあるトイレも，使いたくないなというぐらい汚いです。道の駅にしろ，サービスエ

	リアにしろ，何でもそうだと思いますが，トイレというのは利用するにあたって綺麗に環境を良くしておくことがすごく大切なことだと思っています。ここのトイレは入りたくないなと，ものすごく感じるのです。改善に力を入れていただけると，利用する我々としては，ありがたいなというところです。 あと，先ほど石﨑委員が言っていた，表現に違和感があるというところです。細かいつまらないことだと思うのですが，トップアスリートの育成のところで，野口啓代さんに出場激励金を交付したとありますが，野口さんがそれまで努力してきたことであって，我々龍ケ崎が育成に努力したということではないと思います。つまんないことですけど，言わせていただきました。 以上です。
大橋会長	どうもありがとうございます。 このトップアスリート育成というのは，去年もありましたよね。
小室課長補佐	スポーツ大会への出場激励金という制度が中心となっている事業です。 あとは，小学生などの指導者の養成，などが加わっていると思います。
大橋会長	塚本委員，そういうことだそうです。
土屋委員	塚本委員がおっしゃっていましたけど，たつのこやまのトイレは本当に入りたくないです。危ないです。暗くて見えないのですよ。 トイレへ行く小学生の女の子とかも，怖いって言いますよ。私たちが入っても怖い感じがします。駐車場と児童館の上にありますけど，特に児童館の上が怖いですよね。 今日その話もしたかったのでちょうどよかったです。お願いします。
大橋会長	これも担当課へということになるかと思います。トイレは，綺麗でなく使い勝手が悪いとなると，皆さんいらっしゃらなくなるでしょうから，そうすると施設も利用したくないということになり，利用者が減ってくると，悪循環につながりかねないので，トイレの改善を担当へ。学生にも，トイレと食堂が1番綺麗でないと駄目だということは，よくわかっているので。 全国の駅など，最近はどこへ行っても綺麗なトイレになっていますので，ぜひ，担当課へよろしくお伝えください。良い方向にいくと思いますので。 それ以外にどうでしょうか。
石﨑委員	1ページの①の子供と住みたい龍ケ崎の実現というところのKPI指標①，②，③は，それぞれ待機児童がゼロで満足度が概ね100%前後ということで推移していますが，受入人数は計画当初の平成29年度から増員対応しているのか，あるいは，元々の許容数値の中で推移しているということなのかを，現状分析の中に記載していただいた方がよろしいのではないかと思います。
小室課長補佐	学童保育に関しては，あまり変わっていないと思いますが，保育所に関しては，毎年少しずつ増員，増設が進んできているので，キャパはおそらく年々上がっている状況だと思います。駅前こどもステーションに関しては，特に送迎についてはバスの増便などで利用増加している状況です。その辺を含めて記載していきたいと思います。
大橋会長	記載があったらわかりやすいですよね。それ以外にいかがでしょうか。
石﨑委員	先ほど，小林委員からの質問に大橋会長からお答えがありましたが，3ページの空き家の活用件数についてです。これ，定住のための1つの施策として，非常に重要だと思

	うので。 　ご説明いただいて私も内情はわかりましたけど，今後の施策事業展開の中に方向性を少し書くことはできないのでしょうか。このままだと，展開が急務であるということは，おそらく誰が見てもわかると思います。そんな言葉よりむしろ，方向性の具体的な言葉をここに少し入れていただいた方が，理解しやすいのではないかという気がいたします。 　また，関連して１点。定住のための施策をシティーセールス課からこの委員に対してネットで呼びかけ，それに対する答えを私も返信した記憶があるのですが，どういう状況ですか。いま盛り込む話ではないと思いますけど，もしお聞かせいただけるのであれば，お願いします。おそらく皆さんからの返信もある気がするのですけど。
大橋会長	昨年度，皆さんに問いかけされていると思います。
石﨑委員	私も返信しましたし，皆さんも何らかの返信をされているのではないかなという気がします。そういうところの情報は，この定住ということに大きく関わってくる案になるのではないかなという気がします。
大橋会長	事務局にはそのデータがなければ今回は説明できないと思いますので，シティーセールス課の方で何か皆さんにその結果について案内か何かを出していただければ，よろしいのではないでしょうか。 　空き家の方向性については，私から担当課にお話しておこうと思いますので，後で事務局と検討させてください。
岡野課長	石﨑委員がおっしゃられたのは，おそらく去年の第３回のこの委員会でシティーセールス課がシティープロモーション定住促進関係の事業をやるにあたって，書面会議という形でご意見をいただいた件だと思います。 　委員の皆様からいただいたいろいろなご意見をベースに，シティーセールス課で考えた案の通り今年度実施するということで，国に地方創生補助金を申請いたしました。PR動画の作成ですとか，移住体験ツアーですとか，計画に基づいて今年実施する予定で進めております。報告遅れて申し訳ありませんでした。 　また，空き家につきましては，空家バンクをこれまでなかなか活用されてこなかったという状況がありましたが，今年度から空家バンクに登録して動きがあった物件については新たな補助金等を創設して，より使いやすいものにしていこうという取組を始めたところです。来年はその件数等についても，ご報告できるのかなと考えております。 　以上です。
大橋会長	どうもありがとうございます。 　よろしいですか，石﨑委員。 　なければ次の項目をお願いいたします。
事務局	―事務局・小室課長補佐令和２年度第２次ふるさと戦略プランにおける進捗状況評価の戦略２について説明―
大橋会長	はい，どうもありがとうございます。 　いかがでしょうか。委員の皆さんから何かご質問等ございますか。
松永委員	7ページ③の魅力があり信頼される学校づくりのところの令和２年度のKPI③が，累積なのに数が減っているというのは，どういうことですか。順調に進捗しているというのは，令和３年には目標値には届くので全体的にはおおむね届くというイメージを持っ

	ているということでよろしいですか。コロナの影響もあるので目標値がこれで良いのかという問題もそもそもあるのですけど，それは置いておいて。④は防災参加者数なので数字は結構動きますが，③はそんなに動かないわりとしっかりした数字ですよね。累積で減っていて，本当に目標達成するのですか。また，①も②もですけど，見込みが立っているという認識でよろしいのでしょうか。一番わかりやすいのは③ですけど。 下がっているというのは一体どういうことで，今後伸びる見込みなのはどの辺から考えられるのか，説明があると良いなと思いました。
小室課長補佐	累積という最初の設定が問題だったとは思いますが，新規採用の教職員や市外から転勤して来るような教職員などの影響で母数が増えて，受講者を割りかえしていくと数値が減ってしまうからです。毎年かなり多くの先生方に救命講習を受けていただいている状況なのですが，受講者が市外へ転勤していってしまうということもありますし。 順調に進捗しているという評価は，来年の目標最終年度に対して KPI はほぼ目標達成できそうな状況ということと，目標に基づいた取組がきちんと行えているということを，加味したからです。例えば今回で言うと，教育の日推進事業で，子供たちが自らやりたくなることを行政が取り上げたり，自分たちがやってきたことがいろいろな人に評価されることを意識できる事業を催したりしました。 子どもが学校や地域に魅力を感じるような取組を進めるなど，目標に対応した取組を行ってきたところを加点して，順調という評価しました。
松永委員	基本的には，来年度はコロナがある程度収束し，活動が戻ってくるという前提で考えていらっしゃるようなイメージでしょうか。
小室課長補佐	そうですね，来年度は，ある程度コロナの対応も踏まえて評価をしていくようになると思います。きちんと継続的な取組ができているということで。 この令和2年度の評価は，コロナ対策に手を取られて状況が悪くなってしまった時期の評価なので，来年度はコロナがおさまらなかったとしてもコロナと共存した対応が取り組めているかということを前提に評価していかなくてならないと，現段階では考えています。
大橋会長	どうでしょうか。それ以外に何か。よろしいですか。 続いて3番目の項目をお願いいたします。
事務局	―事務局・小室課長補佐から令和2年度第2次ふるさと戦略プランにおける進捗状況評価の戦略3について説明―
大橋会長	どうもありがとうございます。戦略3について，いかがでしょうか。
塚本委員	15 ページ①についてです。現状分析のところに，道の駅整備は引き続き埋設物への対応が必要なため進捗が遅れている状況とありますが，6号線を通ったら道の駅建設予定地と出ていたと思う横断幕がなくなってしまっていました。作らないということなのかなと思ったのですが，道の駅整備の関係機関と連携を図りながら引き続き早期の整備を目指して取組を進めると方向性が書いてあるので，これはやるのですか。確認したいのですけれども。 戦略プランというのは，変えられないのですか。書いてあるのでやらなくてはいけないとかあるのか，確認したいのですが。
岡野課長	変えられないということではないのですけども，これは最上位計画ということになりますので，基本的にはここに書いてあることはやる方向で進めるということになりま

	す。途中で大きな状況の変化とかがあったときには，休止するとかやめる方向で考えるとかはあるのですけれども，やっていくというスタンスが基本になります。 道の駅の現状について申し上げますと，工事を着手しようとしたところ，ここに書いてある軟弱地盤の問題であったり，埋設物の問題であったり，当初想定できなかった問題が発生して解決に時間を要するということで，費用的な面も含めて一旦仕切り直しということになりました。牛久沼活用については，道の駅の他にも例えばサイクリングロードとなる牛久沼トレイルとかの感幸地構想なども提案しているところなので，今のところ辞めたということではなくて，仕切り直しという言葉で説明させていただいています。
塚本委員	仕切り直しですか。 埋設物云々の話って，イロハのイでやる部分ではないですか。私は甘納豆屋なのですが，工場を作る時に地盤は調べます。今更言っても仕方ないことですけれども，道の駅構想が始まって何年経っていますか。時間が随分経っていると感じます。 では，やるという方向で認識してよろしいのですね。
岡野課長	仕切り直しをする中で，今言った問題の解決方法とか牛久沼の活用の方向性を定めていくというようなことでご理解いただきたいと思います。
大橋会長	仕切り直し中では，やらないということも出てくるのでしょうから，なかなか返答に困るようなことでしょうけど，いつ頃までにわかるのですか。それもまだわからないですか。
岡野課長	今年度の取り組みとして，関係機関である県や国とかと解決に向けて協議を進めていると伺っております。
大橋会長	はい，どうぞ。
石﨑委員	14 ページの④の評価についてです。別途資料 1 の 3 ページに，「施策評価における進捗状況評価」の判断基準が 4 つ明確に示されていますが，この基準に照合すると，目標達成は難しいと現状分析の中で宣言しておいて，進捗状況評価はおおむね順調に進捗しているというのは，選択が違うかなという気がします。施策は行っているけれど，KPI は目標達成が難しいというならば，やや進捗に遅れがあるとならざるを得ないのではないのか思います。整合をとったほうが良いのではないかと思います。
小室課長補佐	そうですね，実績はずっと横並びできていますので，一気に目標値に達するのは難しいだろうと判断できますよね。ただ，コロナの状況を踏まえながら，インターネット市政モニターで意見に触れる機会を増やしたり，オンラインできる取組を行ったりしてきているので，数字は横ばいになっているけれどやることはやってきているということで，昨年同様，おおむね順調とプラスに評価しました。 現状分析では，数値が悪い，難しいとしか言っていないので，市政モニターの話とか，施策の状況についてもう少し書いていきたいと思います。 なお，進捗状況については，委員の皆さんから意見をいただければと思います。
大橋会長	委員の指摘の通り，現状分析を見ると，どれもマイナスの方向で書いてありますものね。順調ということではなく，やはりやや進捗の遅れがあるということになるのではないでしょうか。 指摘のように目標達成は難しく，また，大きな成果にもつながっていないことで，否定の言葉が出てきているわけですから，ここはやはりやや進捗に遅れがあるという形に

	した方が現状分析とも整合がとれるのでよろしいかと思います。我々としてはそういう方が良いということで，事務局にお伝えしたいと思います。
小室課長補佐	はい，わかりました。そのように修正いたします。 令和 2 年度の評価なので今後の方向性のところにオンラインミーティングの話が出ていますが，今ちょうと次の最上位計画策定に入っていている中，この 1，2 週間でオンラインワークショップを始めてきているところなので，今後の評価としてはいろいろなオンライン活用の話が出せるかなと思っています。
石﨑委員	もしそういうことであれば，ごめんなさい。 現状の分析のところと，評価をちゃんと整合した書き方にしないと，読んだ方にとっておかしくなり，おかしいでしょという指摘があるのではないのかなという気がします。
大橋会長	次年度に関しては状況が変わってくると思うので仕方がないですが，今年度に関しては現状分析ではやや進捗遅れがあるの方がふさわしいと思いますので，修正していただければと思います。 それ以外にいかがでしょうか。 加藤委員どうぞ。
加藤委員	今の話に関連して。 この評価シートを見ていて思うのが，判断理由とかが書いてないケースがあるということです。現状分析と KPI を見る時，評価をつけた判断理由とかが記載されていると，すごくわかりやすいのかなと思うので。 今後，評価シートを見直して評価項目が増えると，それだけ職員の負担になるかもしれないですが，考えても良いのかなと個人的に思います。
小室課長補佐	KPI を設定しているのだから，まず KPI の判断をベースに考えないといけないだろうと思って評価しました。 やっていることと KPI が乖離してしまっているようなケースや，施策に対する KPI 設定が果たして妥当だったのかというケースは，担当側としても少しあって，評価のやり方について，次の最上位計画策定に向けていろいろ準備を進めている中で仕組を考えておりますので，今後は直していきたいなと思います。
岡野課長	すいません，毎年いろいろご意見をいただいてる部分かと思いますが，基本的に進捗状況評価は KPI をベースにしながらも取り組み状況を勘案して，4 段階評価で報告を行うという制度になっていますので，チェックした理由を納得してもらえるよう現状分析のところで表現していきたいと思います。
大橋会長	他にいかがでしょうか。 どうぞ。
石﨑委員	流通経済大学の学生さんの市内就職率が悪いという指摘とともに，シルバー人材センターさんのお話もありましたよね。この中で，多様な要求に応えられるようにしていくというザクッとした今後の方向性がありましたが，今後求められる人材はどういう人なのかみたいな方向性を書かれると説得力が出てくるのではないのかなという気がします。流通経済大学の学生さんだって，就職するために自分がしたいこととのマッチングを当然行うわけなので，どういうところにズレが生じているのかというところを埋めない限りは，就職率は上がって行かないのではないかと思います。ザクッとした方向性だ

	けで，また継続とするのではなくて。 　資料３を読んでみても方向性があまり詳細に書かれておらず，なかなか理解しにくい状況になっていると思うので，ここは理路整然とロジックを組んだほうが良いのではないかなという気がします。
小室課長補佐	流通経済大学さんの卒業生の市内就職率が悪い原因は，いろいろなケースがあると思うので一概には言えないですけが，想定できる原因を少しは把握していると思っています。ただ，本当にそれがそうなのかというところまで落とし込んで分析ができていない状況です。 　学生が何で市内に就職しないのかといった話を大学でした時，学生が龍ケ崎にどういう企業があって，どんなことやってる企業があるのか，そもそも知らないことがすごく影響しているのではないかと話がありました。確かにそういう面もあるのかなと思いますし，これまで合同就職説明会とかを行ってきたところですが，もう少し踏み込んでやらないといけなかったり，情報提供の仕方にも課題があったりしたのかなと思っています。 　これは学生にとどまらず，高齢者に関しても，市の雇用政策を考えたときにすごく大切なことだと思っています。 　取組がまだきちんとできてない部分が多いのかなと思いますので，その辺も含めて少し書かせていただければと思います。
大橋会長	よろしいでしょうか。はい，どうぞ。
松永委員	13 ページの②の４つの現状分析です。 　これこれこういう要因で，このような状況と考えられる，というようにしていただくのが現状分析だと思います。 　例えば，最初の丸と最後の丸は，単に目標が厳しいとか，上回っていると書いてあるだけなので。数値をみればわかる話なので，書く必要はないと思います。２番目と３番目の丸だと，これこれの影響が出て，と考察されていて，だからこうなのか，ということがわかるので。 　他も，単に数字についての説明だけだったら，あまり書く必要ないかなと思います。書いても良いのですが，なぜかという知りたいところが大体書いてないのですよね。要因分析は難しいと思いますが，難しくても，こうすれば周知がうまくいったとか，コロナ禍でも何とかなったぐらいの何かしらの仮説を書くのが現状分析であり，親切だと思うので，お願いしたいと思います。 　単に上がった下がったということを書いてもらっても，そういう文字を読むだけ辛いので，お願いしたいと思います。
大橋会長	よろしいでしょうか。 　確かに現状分析と言えば，数字が上がったり下がったりした理由が必要だと思います。来年度，ちょうど５年目にあたるわけですから，そのあたりも少しは加味していただければと思います。 　それ以外，いかがでしょうか。なければ次の項目に入らせていただきます。 　次の項目は２つまとめてということで，お願いいたします。
事務局	―事務局・小室課長補佐から，令和２年度第２次ふるさと戦略プランにおける進捗状況評価の戦略４と戦略５を一括して説明―

大橋会長	どうもありがとうございます。 では，戦略４・５について，何かご質問等ございますか。 塚本委員どうぞ。
塚本委員	すいません，戦略４・５とか全然関係ないのですが，個人的に感じたことです。 子育て環境日本一，市民活動日本一，防災・減災日本一，スポーツ健幸日本一という目標がありますが，日本一になるのだろうかと思って取組状況や，現状分析や戦略を見ても，これをやっても日本一にならないだろうなというような感じがします。 目標を大きく持つということはものすごく良いことだと思うのですが，小学生や中学生が俺日本一になると言うのと，行政が日本一になると言うのでは，全然重みが違うと思います。あくまでも私の主観ですが，行政がこういうことやるとカッコ悪いと思ってしまいます。 すみません，一言言わせていただきました。ありがとうございます。
大橋会長	もしよければ，そのコメントに対してどうでしょうか。
岡野課長	日本一という言葉は，なかなか行政としてあまり使わないようなフレーズなのですけれども，元々これの前の戦略プランを作るときに，施策の重点課題とかを考えていく中で何回か市民の方に集まっていただいて，まちづくりの目標を定めていこうと市民ワークショップをやった際，市民の方からどうせやっていくのだったら日本一目指そうという提案があり，それを採用した形で重点施策である子育てとか当時重点的に進めていた市民活動とかについて日本一を目指した形で進めて，今回の第 2 次を作るにあたっても，重点施策として防災減災と健康づくり日本一というのが加わったという経過があります。今，策定を進めている次の最上位計画の策定のときには，いろいろ意見をいただきながら考えていきたいなと思っています。
塚本委員	これ市の最上位計画ですよね。ワークショップで日本一と言うのと，市が日本一目指すと言うのとでは違いますよね。 市の最上位計画では，こうやってやるといった根拠がないと言ってはいけないと思います。意図して名前を付けているのではないというのはわかりますが，日本一が軽くなってしまうので，最上位計画に関してはどうなのだろうと感じました。
大橋会長	検討してください。何となく日本一の重みがなくなってきたということかもしれないので。 日本一を目指すということなると，やはり根拠資料が必要になってくると思います。資料４・５には他との比較がありますが，もっと煮詰めていかないと日本一が見えてこないだろうと思います。 日本一を目指すのは良いいのだけど，だんだんと重みがなくなっているかもしれませんので，いずれにせよ検討していただければと思います。よろしくお願いします。 いかがでしょうか，戦略４・５について。
松永委員	戦略４・５についてではなくても大丈夫ですか。質問なのですが。 順調に進捗，おおむね順調に進捗，やや進捗に遅れ，進捗に遅れといった，この集計結果と１年前の前回の集計結果には違いがございますか。前回は順調に進捗が何個で今回は何個，おおむね順調が前回は何個で今回は何個，といった数字はございますか。 コロナの影響があるので通常たぶん評価は下がっているのではないかと思いますし，下がっていても良いと思うのですが，どうなっているのか確認したいので，もしあれば

	お願したいと思います。
岡野課長	今年の評価数で言えば，順調に進捗しているが 12，順調に進捗しているが 15，やや進捗に遅れがあるが 15，進捗に遅れがあるが 1，というような結果になっています。昨年で言いますと，同じく順番に 10，18，13，2，ということで，全体的に評価自体は低いレベルの方に動いているというような形になっています。やはりコロナの影響が大きいかなと思っております。 また，昨年からの上下動で言いますと，上がっているのが 5，変わらないのが 35，下がっているのが 3，というような結果になっておりまして，傾向は昨年と変わらないというような形です。
松永委員	あまり変わらない感じがしますよね。基本的には同じ傾向，同じぐらいの評価ですね。
岡野課長	おおむね順調が少なくなって，やや進捗遅れが増えているといったところですかね。
松永委員	そうすると，進捗評価においては，コロナの影響をあまり感じていなかったようなところでしょうかね。トータルで評価すると，影響はそれほどなかったということでしょうかね。
岡野課長	施策というか事業の動向としては，コロナの影響は非常に大きく受けているのですが，最初に考え方を話した通り，コロナの状況も踏まえたうえで進捗評価を行っていて，コロナになる前の傾向とかも踏まえて達成できるかどうかという視点で評価しているので，この評価だけで言えば影響を受けていないという見方もできると思います。
松永委員	今の話で言えば，今回のコロナの影響でいくつかちょっと下がったものもあるけれど，最終年度ではコロナの影響があったとしてもある程度元に戻るだろう，これまでの実績へ戻るだろう，といった評価をしているという意味でしょうか。
岡野課長	回答が難しいですが，コロナの影響で数字が出ないところや数字が上下しているところを見つつも，これまでの数値の推移とかも見て評価しているということです。
小室課長補佐	コロナの状況がほとんど払拭されて，目標が達成できるかというのはまだ見えない部分があるので，そこをどう評価するかというところになってくると思います。 コロナが落ちつかなければ，施設が開けないとかの話になるので，利用者数とか参加者数とかの KPI 数値はたぶん戻ってくることはなく，どうやっても KPI が達成できないとなってしまうと，この間の取組がほとんど駄目だったという結果になってしまう可能性もあるので，どれぐらいコロナの影響を受けたか考えながら，最終的には評価するしかないのかなと思っています。 ただ今回は，コロナの状況で取組をやらなかったことは少し下げ幅を抑えて評価したということです。 少し甘くという表現は良くないのかもしれないですが，何もやらなかったら数値が下がってしまっただろうけど，維持できる取組に変えたとか，取組によって数字的に少し延ばせる部分もあったとかを評価し，全く駄目だったという評価はしませんでした。
岡野課長	来年も今年と同じような形になるかとは思いますが，KPI は KPI で捉え，推移で達成状況を捉えつつも，分析の中でコロナの影響をどう受けていて，数値にどう影響しているのかを含めて考え，トータルで 4 段階評価を出していくというような形になると思います。

松永委員	そうすると，コロナがなかったらこれまで通りやって実績が出るので，これまでの延長上でほぼ評価できるのではないか，みたいなことですか。 要するに，コロナがあったために下がったかもしれないけれど，これまで通り頑張っているので本当はこれまで通りのぐらいの実績は出ていたかもしれない，というような感じの評価になっているということですかね。
大橋会長	ただこの問題，難しい問題で，評価の仕方ということになってくると，そもそも今回のコロナは想定外のことで，評価指標に元々入っていないことだから，こういった想定外の要因をどのように取り入れるかを，事務局も一度話しておかないといけないと思います。 確かに，影響を受けるかは，項目によって違うけれど，事業参加ということで言えばほとんど参加できないわけで，当然影響が出てくることですから。 想定外の要因というのは，今回初めてのことだし，想定外の要因があった時にどう評価するかというのも，まずは事務局で話をして，そして次年度は取り入れた評価をするのも考えておいたほうが良いかと思います。評価というのは非常に難しく，簡単に答えるのはなかなか難しいと思うので。 一応，こういう想定外の要因が入ってきたときにはどのように評価するかを事務局で話し合っていただければと思います。話し合ってもらって，さらに，次回の時にそれを反映していただくようにしたらよろしいかと思うので，そのような方向でよろしいですかね。
松永委員	今回は，元々評価が難しかったのではないかと思います。ただ，コロナの影響があるものとないのものが混ざっている可能性もあるし，ただコロナがなかったらこうなっていたと言うのであれば，今年ではなくてその前の実績と同じになってしまい，今年の評価なのかよくわからなくなり難しかったのではないかなと思いました。
大橋会長	いかがでしょうか。それ以外に何かございませんか。
松永委員	7ページ④の一人ひとりの心に寄り添うというところですが，KPI を見る限り，おおむね順調と言えるのか，皆さんご意見をいただきたいです。数字を普通に見れば，むしろ，やや進捗に遅れがある，ではないのかなと思うのですが。 KPI の①から③について，①はアンケートなのでちょっとブレがあるかもしれないので数値が上がっていても良いかなと思うのですが，数字が結構しっかり出る②の不登校解消率は低いですし，③の学校復帰率も下がっているので，あまり良い評価ではないのではないかと思います。皆さんの意見も踏まえて判断しても良いのかなと思っています。改めて，どうでしょうか。
大橋会長	皆さんもよろしいでしょうか。7ページ④の一人ひとりの心に寄り添う教育の推進というところ。特に，KPI②の児童生徒の不登校解消率について。 目標値が，児童 40，生徒 20 ということですが，平成 29 年の実績から平成 30 年，令和元年，令和 2 年と悪い方向に進んでいます。
小室課長補佐	おっしゃった通り，KPI②，③は，確かに数字的にだんだん悪くなってきている状況ですけれども，子供たちが抱えるケースは，その子供だけ，親だけの問題ではなくて，周りの環境まで含めた困難のため解決がなかなか難しく，そういう子たちだけが最終的に残ってしまうような状況があります。 今後の方向性にも書いたのですが，スクールソーシャルワーカーを，この不登校の子

	たちと，その周りの地域，その関係機関などと連携を取るための人材として今年度から学校に入れて，連携を取るような取組を始めたところです。 そういった取組を令和２年度から検討していて,令和３年度から実施できるように考えてきたところもあったので,評価は一段下げてということはしなかったということにしました。 ただ,困難ケースはなかなか解消できないので,その解消できない子を１人入れると,それはもう１年２年で解決できず,数字的にはずっと悪い数値を維持してしまうようなことはあるかと思います。
大橋会長	これは先ほどと同じようなケースになりますよね。数値的に見れば，悪い方向に進んでいるので。 順調と言うのはおかしいだろうと思い，松永委員のご指摘の通りだと思いますが，皆さんいかがでしょうか。 確かに解消が難しいのはよくわかるのですが，だからといって順調にしてしまうと，逆にメッセージとして良くないので,進捗に遅れがあるのだからもっと頑張ってくれよということで，あえて難しい問題に取り組んでもらうという意味を込めて，やはり，ここではやや進捗に遅れがある，のほうがよろしいかと思います。どうでしょうか。
松永委員	最終的に，解消できない子がいて，解消が難しい人だけ残ってしまうのであれば，やはり指標を変えた方が良いと思います。
大橋会長	そうなると思います。 問題を持っているというような子供たちは,いくらやっても非常に難しいということになるのですよね。そうすると，そもそも目標が高すぎるということになってしまうので，少し検討するべきです。
小室課長補佐	はい，やや進捗に遅れがある，に修正させていただきます。また，KPI についても，次の計画立てるときには十分考慮していきたいと思います。 なお，この不登校率という割合で把握するのは，国や県でも最近あまりやらなくなってきている状況もありますので，その辺も参考にしたいと思います。
大橋会長	他にいかがでしょうか。 戦略４・５以外にも何かありましたら。全般的なことでも。
石﨑委員	先ほど松永委員からご指摘ありましたが,現状分析のところが現状認識で書かれているのが圧倒的に多いように見えます。 現状認識ではなく現状分析となると要因分析ですから,現状どういう要因が背景にあるのかということが書いてあるのが現状分析です。非常に難しいことですが，それが次への具体的な施策につながります。大元になりますし，その施策をベースに方向性が決まってくるということにもなりかねないので,そこの流れはちゃんと整理していただいた方が良いと思います。せっかくこれだけ労力をかけて，綺麗にまとめているので。 全体的に読んでいて，現状認識と現状分析をわけていただければなというのが，私の印象です。
大橋会長	どうもありがとうございます。
大山委員	施策評価シートの方は特に意見はないのですが，進行管理シートの方で。 次回ご検討いただくと良いのですが，外部に公表されるというのであれば，支援策などをホームページで公表している，あるいは第 3 者に公表している資料があるのなら

	ば，そのホームページアドレスなどを活動実績のところに記載していただければ，意見を出していただける方がいるのではないかと思います。
大橋会長	はい，ありがとうございます。 では，一応これで終わりにしたいと思います。また何かご意見がありましたら，直接事務局へお願いしたいと思います。 本日の審議はこれで終わりにさせていただきます。長時間ご苦労さまでした。ありがとうございます。 では，事務局にお返しいたしますので，よろしくお願いします。
岡野課長	それでは，長時間にわたり審議ありがとうございました。 ここで手短に事務連絡させていただきます。
記録者	2 点事務連絡させていただきます。 まず報酬についてなります。本日の会議報酬ですが 2，3 週間をめどに指定の口座にお振り込みさせていただきます。ただ申しわけありません，その際，お振り込みの通知は割愛させていただきますので，あらかじめご了承ください。 続きまして，次回の会議についてです。第 2 回の本会議は，11 月開催を予定しております。詳細が決まりましたら，また通知にてご連絡させていただきますので，よろしくお願いいたします。 以上です。
岡野課長	それでは，本日いただきしたご意見を踏まえて評価シートを見直し，修正を加えて公表をしていくということで進めていきたいと思います。 会長及び署名人のおふたりには，後日議事録の署名をお願いしますので，よろしくお願いいたします。 それでは，以上をもちまして，本日の委員会を終了いたします。長時間にわたり，どうもありがとうございました。

年　　　月　　　日

委　員　長 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

議事録署名人 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

議事録署名人 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿